

Ⅲ 市政に関する意見、要望等

(i) 総務財政常任委員会所管

震災・放射能に関すること／防災に関すること／地域活動の推進に関すること／
事務改善に関すること／市有財産に関すること／民有地に関すること

(ii) 教育厚生常任委員会所管

放射能に関すること／被災者支援に関すること／火葬に関すること／
小・中学校に関すること／市民センターに関すること／地区集会所に関すること／
健康推進に関すること／ごみの減量化に関すること

(iii) 産業建設常任委員会所管

震災等による道路・下水道の復旧に関すること／道路等に関すること／
農業に関すること／角田ブランドに関すること／
たい肥センター「農業の館」に関すること／
雇用促進住宅に関すること／上水道に関すること

No. 1	震災・放射能に関すること
意見・質問・要望等	宮城県全体が激甚災害に指定されているが、どれくらいのお金が出るのか。【角田地区(田町・東ブロック)】
当日の回答	角田市も認定を受けている。今国の査定を受けているところです。
今後の取組み	<p>平成22・23年度で災害に係る予算措置総額は、23年6月補正分まで加えて、888,128千円で財源は、国庫支出金で100,981千円、県支出金で96,596千円、地方債で359,500千円、一般財源で331,051千円になっています。</p> <p>特別会計(公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計)では、6月追加補正まで加えて533,124千円ですべて一般財源で予算措置しています。</p> <p>今後、補助査定等が行われ、国・県及び地方債を充てていくことになっております。【財政課】</p>
No. 2	震災・放射能に関すること
意見・質問・要望等	<p>①震災の被害額は当初74億円ほどと言われていたが、約45億円となったのはどういうことか。なぜ、そんなに差が出たのか。</p> <p>②災害復興資金についてどうなっているのか。今後の復興の見通しどうなっているのか。【北郷地区】</p>
当日の回答	<p>①市の概算は大雑把であり、損害規模を大きく見積もっていたのではないのでしょうか。下水道についても、当初の55億円は目算であり、カメラを使った精密調査結果は30億円程となりました。</p> <p>②国県からの補助金。もちろん市の負担もあります。どの位かというのは、まだ確定していません。工事は8月議会に上程、9月入札、10月より工事を開始する予定です。</p>
今後の取組み	<p>①当初の被害額の算定については、まだ、被害の調査中での被害額の算定でしたので、特に下水道施設ではテレビカメラを使用した調査を行っている最中であり、正確な被害額を算出できなかったことから、概ねの被害額となったものであります。その後、被害状況がほぼ明らかになり、まだ確定した金額ではありませんが、被害額を算出したものです。【防災安全課】</p> <p>②今後の復旧・復興の見通しについては、角田市震災復旧・復興基本方針、同基本計画にも明記しているとおおり、概ね2年くらいで終わりますが、民意を反映するものや、設計等に時間の要するものについては、例外的に5年程度かかる予定です。【政策企画課】</p>
No. 3	震災・放射能に関すること
意見・質問・要望等	角田市でも寄附金が寄せられていると思うがどれくらいあったのか。【角田地区(田町・東ブロック)】
当日の回答	寄付金は23団体、63名で2,100万円。見舞金は340万円。義援金は475万円です。
今後の取組み	本市に寄せられた寄付金等については、6月9日現在で、災害復興寄付金として、23団体63人の方々から約2,100万円、災害見舞金として12団体4人の方々から約340万円頂いております。また、義援金として、社会福祉協議会で頂いた金額は約480万円となっています。【防災安全課】

No. 4	震災・放射能に関すること
意見・質問・要望等	給水車についての広報が良く聞きとれなかった。地区毎に給水タンクを設置してほしい。【横倉地区】
当日の回答	要望として承ります。
今後の取組み	広報車による広報は、様々な情報を市民に早急にお知らせするために行ったもので、「聞き取りにくい。」という苦情があったことから、走行中の広報ではなく、停止して広報することなど、皆様に情報が届く方法に替えております。また、給水タンクの各地区への設置については、給水タンクの管理や担当職員の配置などの課題がありますので、今後検討します。【防災安全課】
No. 5	震災・放射能に関すること
意見・質問・要望等	広報紙が回ってくるのが遅かった。広報車も、もう少し聞こえるよう対応して欲しい。【桜地区】
当日の回答	広報車の音が聞こえないという苦情は多かったです。市は早く住民の方にお知らせしたいということでしたが、聞こえないのでは意味は無いので、当時、対策本部に行って改善するように話しをしました。大変にご迷惑をお掛けしました。
今後の取組み	広報車による広報は、様々な情報を市民に早急にお知らせするために行ったもので、「聞き取りにくい。」という苦情があったことから、走行中の広報ではなく、停止して広報することなど、皆様に情報が届く方法に替えております。また、緊急性の少ない情報については、「角田市からのお知らせ」で毎月2回情報を提供しています。【防災安全課】
No. 6	震災・放射能に関すること
意見・質問・要望等	大震災時、医療関係者だったので緊急用に定量のガソリン券は貰えたが、燃費の良い小型車に給油しようとしたら、「申告車両と異なるので給油できない」と立ち会っていた市の職員に言われた。もっと臨機応変に対処すべきだ。【小田地区】
当日の回答	緊急車両用の貴重なガソリンを流用される恐れがあるので、市の職員としては当然の判断・対応であったと思います。
今後の取組み	東日本大震災において、津波や火災によりガソリン等の燃料の供給施設が被害を受けたことにより、ガソリン等の燃料供給に見通しがつかない状況になったことから、公共事業に従事する車輛等の燃料を確保するため、本市では、3箇所のガソリンスタンドに協力を依頼し、公的機関、生命に直接関係する場合や災害対応等で緊急性のある場合などに、ガソリン等給油を認め許可申請により、許可書を交付した車両に対し給油を行いました。許可申請書には、申請者の氏名、給油する車輛のナンバー、油種などを明記して頂いたので、申請した車両以外には給油しないこと、としていましたのでご理解願います。【防災安全課】

意見・質問・要望等

震災から4ヶ月がすぎ当時の事を忘れかけてきていると思います。地震直後、水やガソリンを買うために初めて並んだ。私の自宅はちょうどバイパス沿いにあります。給油するのに、ホーチキまで朝から並んでいた。並んだが、ガソリンを買うことができなかったという話を聞いた。行政と販売店が協定を結び給油券などを発行しスムーズに行くような取り組みについて、事前に対策をして欲しいという要望です。
【桜地区】

当日の回答

震災当時、震災特別委員会の正副委員長は朝7時、10時、夕方4時の1日3回に災害本部につめており、その状況は本部会議で報告されていました。

今回初めてこのような大きな災害があり、市もどれだけのガソリン等を確保すればよいのか、予測の検討もつかなかったわけです。今回3箇所のスタンドで、緊急車両の対応をしましたが、道路も寸断され、仙台港の製油所も火災にあい、市の担当者も病院や市役所、消防等の使用量が予想もつかない状況で、どれくらいで入荷するかも予測がつきませんでした。契約しているスタンドの数も少なかったので、今後このことを踏まえてガソリン等の油を確保し、長蛇の列を作らないように対応して行きたいということです。角田市の防災計画の中で見直しをしていくと思います。

今後の取組み

東日本大震災において、津波や火災によりガソリン等の燃料の供給施設が被害を受けたことにより、ガソリン等の燃料供給に見通しがつかない状況に陥りました。このことから、公共の業務に従事する車輛等の燃料を確保するため、市では、市内3箇所のガソリンスタンドに協力を依頼し、公的機関、生命に直接関係する場合や災害対応等で緊急性のある場合などにガソリン等の給油を認め、許可申請により給油許可照明書の交付を受けた方の車両に限り給油を行いました。

今後は、今回の経験を踏まえ、国や県に対し燃料の安定供給の確保を要望するとともに、市内のガソリンスタンドと、災害時における緊急車両や災害復旧従事車両等への給油の協力についての協定等の締結について、検討したいと考えています。【防災安全課】

意見・質問・要望等

- ①震災時、食料を購入するためスーパーに並びました。現在、母を介護しています。あまり並びすぎると不安になります。石油も大切だが食料が一番大切です。家族が多ければ並んでいても疲れたら交代できるが、家族が一人だと、ずっと並びっぱなしで自分の希望するものが必ず買えるとはいえません。農家なら米あるから良いが、そうでない方は必ず買うしかありません。そういうことを考えて欲しい。
- ②震災時、買い物に行っても買えない。見知らぬおじいさんが閉店間際に来て、「おにぎりください」と頼んでいましたが、店員はもう売り切れたと答えていました。この人これからどうするのかと考えてしまいましたが、誰も「私のをあげます」という人もいませんでした。そういう弱い方が他にもたくさんいると思います。
- ③弱者に対して、命の110番のような電話などないのでしょうか、たとえば食べる物が無いとか、2日も食べて無いとか、水がないとか、一人で行けない人がいます。命の110番があれば安心できる最終的にはここに電話すれば救われるというシステムが欲しい。
- ④救援物資の配分について、急をようしている場合は、山積みにして欲しい人は持って行って下さい、と言った方が良い。システムができてないから10日も1ヶ月も待つのではなく、自己申告で持って行く、早ければ早いほどよいと思います。【桜地区】

当日の回答

- ①あるコンビニと自治体で防災協定を締結しています。宮城県も締結しています。今回の震災でそのコンビニでは300万個のおにぎりを宮城県にヘリコプターで届けたそうです。今回あまりにも大規模であったので、今後、角田市では洪水等により孤立した状況を考えて、ヘリコプター等で搬送できるようコンビニ等との災害物資援助協定、または、食、衣料等運んでくれるような防災協定を市の方に提案して行きたい。要望とし受け賜ります。
- ②災害弱者への対応について、食の供給については記録させていただきます。
- ③電話が不通になった場合どうするか課題があります。地域防災組織を機能させていかなければ難しいと思います。要望と受け賜ります。
- ④市民センターにおいて土日に3回、救援物資の支給を行いました。全部が皆さんに届いた感じではなかったと思います。たしかに対応が遅かったと思います。

今後の取組み

- ①本市においては、平成13年10月に仙南地域広域行政事務組合を構成する2市7町と大手コンビニエンスストアを運営する会社との間で「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書」を締結しております。今回の震災においては、あまりにも大規模であったことから、この会社との協定がうまく機能しませんでした。今回の事例を踏まえ、今後は、生活物資を扱うより多くの会社と援助協定を締結するなど市民への応急生活物資の安定供給が図れるよう早急に取り組んでいきたいと考えております。
- ②災害時における食料等を扱う店舗等の営業状況や物資の入庫状況などを的確に把握し、市民へ迅速に情報を提供するよう対応していきます。また、高齢者等災害時要援護者の方々も含め市民の方々への食料の確保につきましては、関係団体と連携を図りながら安定した供給ができるよう努めていきたいと考えております。
- ③大規模な災害時には、公の救助が来るまでの最低3日分の食料等の備えが必要とされています。今回の震災時においては、各行政区等地域の自主防災組織の方々が、災害時要援護者の方に対して水や炊き出しによる食料の供給等を行うなどの活動を実施したところが数多くありました。今後は、この地域住民による共助の大切さを再

〔総務財政常任委員会所管関係〕

認識してもらい、自主防災組織の設立のを促進を図っていききたいと考えています。

④今回の震災における宮城県等への支援物資の要望については、避難所で不足しているものが中心であったように思われます。この経験を踏まえ、今後、支援物資の調達に当たっては、避難所以外の被災者の方々のニーズを的確に把握し、その配分については公平性を保つとともに迅速に行うべきであり、その方法等について検討したいと考えています。【防災安全課】

No. 9 **震災・放射能に関すること**

意見・質問・要望等 ①震災時において、身体障がい者等の安全確認は、横倉小学校体育館に避難した健常者とまとめて確認していた。
②避難所が体育館で良いのか。プライバシーに配慮し、教室に入れたら良いのではないかと。【横倉地区】

当日の回答 ①災害時の連絡体制を早急に確立せねばなりません。市では現在、防災計画の見直しを行っています。障がい者の方については、後にウェルパークに移動してもらいました。
②参考意見として担当に伝えます。

今後の取組み ①・②地震発生当時、被災者が安全に避難することを優先したことから、障害を持った方も一緒に体育館に収容したものであり、その後障害をもった方などを受け入れる準備状況を確認したうえで、ウェルパークに移っていただいたもので、今後、障害を持った方々を含めた災害時の要援護者の対応を検討していきます。【防災安全課】

No. 10 **震災・放射能に関すること**

意見・質問・要望等 角田市で今回の震災での死者が0人とされていますが、疑問に思います。【角田地区(南ブロック)】

当日の回答 災害基本法では、災害時は死亡地の市長村長に死亡の報告をするようになっております。

今後の取組み 被害状況については、統一した基準に従っており、市域内で発生した被害の状況を表したものです。【防災安全課】

No. 11 **震災・放射能に関すること**

意見・質問・要望等 西仲町商店街にある店舗の屋根瓦が、今にも落ちそうで危険だがどうしたらよいか。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答 持ち帰りまして、早急に確認すると同時に対応していきます。

今後の取組み 報告会終了後、すぐ議員たちで現場を見てきました。そしてその旨を当局へ伝えました【議会事務局】

個人の所有物であることから、所有者が対応することですので、所有者に危険要因を取り除く対応について連絡しました。【防災安全課】

No. 12

震災・放射能に関すること

意見・質問・要望等

角田市は山火事の時など山元町に助けられたにもかかわらず、避難要請があったときに角田市で断ったというのは本当か。【角田地区(南ブロック)】

当日の回答

その様な事は一切ありません。消防団等も応援に行きました。また、職員も毎日手伝いに行きました。

今後の取組み

山元町で被災された方々の避難先として、7月27日まで婦人研修センター及び農村環境改善センターに最多で89人を受け入れ、その他、市のマイクロバスを使用し、山元町に避難している被災者の無料入浴サービスを実施し約1440人の利用がありました。
また、事務の支援として、延べ547人の職員を派遣し、さらに消防団員約210人が支援に出場しました。【防災安全課】

No. 13

震災・放射能に関すること

意見・質問・要望等

①放射能問題で土地改良区では、笠島川の土砂払いを中断している。いつ再開するのか伝わってこない。草刈りなども手をつけられないでいる、どんな状況か説明願いたい。

②放射能問題については、スピード感をもって取り組んでほしい。

③食の安心は言われるが、水の安心についても考えて欲しい。西根は、井戸水利用者が多い。毎戸の井戸水の定期検査、又は、定期検査費用の助成をして欲しい。特に、現在は、放射能汚染が心配されているので早急に実現して欲しい。【西根地区】

当日の回答

①笠島川の土砂については、測定中です。他については持ち帰り回答します。

②角田市では、6月議会で測定器を購入する予算措置をしております。文科省では仙南地区の土壌調査、マップ作りの方向にもあるようです。風評被害への配慮も必要、調査と情報発信も必要との認識は持っております。ご意見承りました。

③当局に伝えます。

今後の取組み

①笠島川の土砂の放射能測定を検査機関にお願いしているところです。測定結果が出て大丈夫であれば、土砂払いを実施していきたいと考えております。【土木建築課】

②今後、放射線測定器を購入し、測定箇所を増やし、またより正確な測定結果を皆様にお知らせすることや、小中学校、保育所や公園の土壌や飲料井戸水に含まれる放射能を測定し、その結果の公表を考えております。また、文部科学省では、福島第一原子力発電所から100キロメートル以内の土壌に含まれる放射能を測定し、「放射線量等分布マップ」を作成しています。今後も、放射線に関して出来るだけ対応していきたいと考えています。【防災安全課】

③市は、水道施設の整備が困難な水道未普及地域において、良質で安定した飲料水の確保を図るため、飲料水安定確保対策事業補助金を交付しておりますが、水道が国民の日常生活に直結し、その健康を守るために欠くことのできないものであり水環境を整えることは、重要課題の一つであると考えておりますので、助成方法や検査方法について検討してまいりたいと考えております。【生活環境課】

No. 14 震災・放射能に関すること

意見・質問・要望等	放射能の測定値は信用してよいのか。【角田地区(南ブロック)】
当日の回答	<p>今の国の対応や東京電力の報告を聞いていると、そういうことも仕方ないと思います。角田市においてはデータ等、虚偽の報告をしていることは無いと思います。</p> <p>測り方は、学校の場合、校庭の中央で測っています。今後、道路の法面、側溝、教室の中、草むらなどで測るように当局に伝えます。</p> <p>6月議会の補正予算で新たに測定器を購入する予定です。信頼されるデータを今後細かくスピーディーに市民にお知らせできるように市に対して要望していきます。</p>
今後の取組み	<p>空間放射線の測定は、宮城県が東北電力に依頼し市役所駐車場で毎日測定しており、その結果は河北新報に掲載されています。</p> <p>市では、県から貸与された簡易放射線計測器を使用し、各小中学校、保育所・児童館、幼稚園、公園等の測定を毎週2回測定し、その結果を市のホームページに掲載しており、他に「角田市からのお知らせ」を月2回各戸配布し周知しています。</p> <p>今後、放射線測定器を購入し、測定箇所を増やし、またより正確な測定結果を皆様にお知らせしたいと考えています。【防災安全課】</p>

No. 15 震災・放射能に関すること

意見・質問・要望等	<p>①角田市全体の放射能の数値として、安全基準はどうなっているのですか。</p> <p>②セシウムの線量はどうなっていますか。【藤尾地区】</p>
当日の回答	<p>①国が示している基準内であるとは言えません。市として子どもたちの安全を考えて各学校のプールの使用を禁止し、屋内温水プールを使用することにしました。自ら防衛していくしかないと思います。</p> <p>②セシウム137は30年で半減するそうです。隈東地区で測定してもらったところ、今のところ、害にはならない程度だそうです。</p>
今後の取組み	<p>①屋内退避及び退避に関する判断基準は原子力安全委員会が示しており、この基準に基づき対応しています。</p> <p>②現在測定している放射線は、ほとんどがセシウムによる線量と考えられます。市では、小中学校や保育所、公園等で放射線量の測定を行っておりますが、これらの測定値は基準を下回っており、健康に影響を与えるレベルではないとされています。【防災安全課】</p>

No. 16 震災・放射能に関すること

意見・質問・要望等	放射能問題でいろいろな対策を考えているが、20年先のことを考えてほしい。子ども達に何らかの影響が心配される。どういことができるか、その時に対応できることを今から準備しておく必要があるのではないかと思う。例えば、対策基金のようなものを創設するとか……。地震への復興は5年後と目途がつくが、放射能への影響は今後、長く続くので、考えてほしい。今の子どもたちが大人になった時の対応を今から準備すべき。【角田地区(中央ブロック)】
当日の回答	貴重な有難いご意見を頂戴しました。持ち帰らせていただきます。
今後の取組み	<p>放射能汚染については、各常任委員会の閉会中の継続調査事件として議決しました。子どもたちを取り巻く環境については、教育厚生常任委員会で調査しております。【議会事務局】</p> <p>放射性物質による影響について、国が中長期的な対応策を示していないことから、不安が広がっているものと思われます。これらについては県と協議し国に要望したいと考えております。【防災安全課】</p>

意見・質問・要望等

- ①市役所前の測定・各学校での測定をしているようだが、測定器がバラバラでは数値が信用できない。東北電力の測定値と市の簡易測定器で測ったら同じになるのか。丸森町は拠点毎に調査しているが、角田市でもそうすべきではないか。
- ②測定器はどこに設置するのか。
- ③数値が丸森が0.13とか角田が0.3とか出ているが、色々な数字が出るのはなんでか。【角田地区(田町・東ブロック)】

当日の回答

- ①子どもの身長に合わせて、保育所・児童館や小・中学校等の施設によって、測定する高さを変えているのも、混乱を招くものだったかもしれません。皆様のご意見は、持ち帰り検討させていただきますし、市当局にも伝えます。
- ②各学校、児童センターに設置します。
- ③風向き等の天候によっても異なりますし、測定方法にもよります。

今後の取組み

- ①市役所前での東北電力による放射線量の測定は、シンチレーションサーベイメータを使用、市の測定は、県から貸与された簡易放射線測定器を使用しており、その測定値は、電力で使用している測定器による測定値と比較すると、30～40%高めの測定値となる傾向にあります。
- ②今後、購入予定の放射線測定器は、東北電力で使用しているシンチレーションサーベイメータと県から貸与されている簡易放射線測定器を購入し、簡易放射線測定器を小中学校配置する予定で、他の測定器は、防災安全課で管理することとしています。
- ③測定する環境の違いにより測定値に違いが生じます。例えば土のところで、舗装や石畳の違いや、測定する高さによっても地表面に近いほど、測定値は高くなります。また、周辺に樹木があることによっても測定値に違いが生じます。【防災安全課】

No. 18 防災に関すること

意見・質問・要望等 防災組織と災害弱者について、協働のまちづくりの中に「安全安心部会」、「教育福祉部会」等がある。何か起こった場合に、一人暮らしや弱者の対応が必要となります。どこにどんな方が住んでいるのか、把握するために災害弱者のマップを作りたいのですが、個人情報等の問題があり、作れません。どういうふう弱者マップをつくって本当に大変な時に駆けつけて救えるのか、どこかに良い事例があったら欲しい。5月に駐在さんが変わりました。駐在さんも困っています。今、駐在さんは、桜地区の住宅を一軒一軒回っています。自分で回らないと作れない。当然、役所も情報を出さないのでお力をお貸し頂きたい。【桜地区】

当日の回答 例としてですが、中島下で自主防災組織を作りました。自治センター単位だとあまりに大きすぎて結果機能しないので区単位で行うことになりました。区の中で班長を通して個人情報の壁があるので、いざという時に必ず声を掛けて下さい、という人を申請していただきました。その名簿は区長と民生委員しか持っていません。今回の震災で水を配った時は区長に名簿を借りて行いました。終わったらお返ししました。悪戦苦闘した事例です。防災組織を作る上で課題として持ち帰ります。

今後の取組み 災害時に支援を必要とする方々、災害時要援護者の情報については、個人情報ですので市からの提供はできません。市議会議員がお答えしましたように、地区の各世帯を対象として、災害時における支援の要・否、マップや名簿等への掲載の可・否などの調査を行い、要援護者の名簿を作成した例があります。この場合、災害時要援護者の名簿の取扱いは、保管者を限定するなど慎重を要する必要があると思われます。【防災安全課】

No. 19 防災に関すること

意見・質問・要望等 ポンプ小屋設置場所だが、当局の言い分では土地の抛出が前提となっている。ふざけてる。消防団員不足に関しても、行政は現実を観てない。災害時動ける体制が必要だと思うし、市民との隔たりが生じている。【角田地区(西・北ブロック)】

当日の回答 貴重なご意見を活かして参りたいと思います。。

今後の取組み 消防ポンプ置場の設置場所については、先ず適当な市有地を探しますが、適地ない場合は、個人所有地の寄付や使用貸借により整備を図ってきています。しかし、今後は、用地の購入も検討する必要があるもの考えています。また、消防団員不足については、班編成の再構築等の検討が必要とおもっており、消防団幹部会議等においても検討し問題の解決を図りたいと考えています。【防災安全課】

No. 20 地域活動の推進に関すること

意見・質問・要望等 グリーンタウンの側溝について、地区振興協議会の優先順位は1位でしたが、震災後の状況はどうなっているのか。【藤尾地区】

当日の回答 (荒井センター長) 本年度事業計画に盛り込むはずでしたが来年度になりました。7月21日に政策企画課で説明に参ります。

今後の取組み 平成23年3月11日に発生した東日本大震災により本市においても甚大な被害が発生し、住家の全壊・半壊等を被るとともに、市の公共施設や道路、公共下水道施設などの市が所管する公共施設等は、約48.5億円の被害額となっています。
こうしたことより、本市が被った市が所管する公共施設等の復旧を早期に行う必要が生じ、それに伴い市の財源が不足することから、平成23年度の地区振興協議会要望事業の予算を震災復旧事業に充て、今年度から実施予定である新規事業の地区振興協議会要望事業について、9地区全て1年間繰り延べし、平成24年度から実施する予定です。【政策企画課】

No. 21	地域活動の推進に関すること
意見・質問・要望等	地区振興協議会はあるが、なかなか進まない。議員も本気になって考えて欲しい。【横倉地区】
当日の回答	労力だけを区長さんに与えないよう、市も努力するよう伝えます。
今後の取組み	<p>地区振興協議会は、地区を良くするために、地区の自治組織として、地区の目指すべき方向や課題・問題・解決策を話し合う場であり ます。</p> <p>今後も地区民自ら考え、意思決定し、実践できる住民自治組織として地区振興協議会を育成していく考えであります。地区の課題解決に取り組む際には、一部の役員の方々だけに負担にならないように地区の方々とは話し合っていきたいと考えております。【政策企画課】</p> <p>議会としても地区計画が実現できるよう後押しする仕組みづくりを検討しているところです。【議会事務局】</p>
No. 22	地域活動の推進に関すること
意見・質問・要望等	各地区の振興協議会で要望した事項について、災害復旧のため延期されるとの話を聞いているが、どうなるのか。【西根地区】
当日の回答	現状で、まだ議会に説明がありません。おそらく、復興計画策定との関わりあると思いますので、はっきりするには時間がかかるものと思いますが、議会としても地区の要望について後押しできるよう取り組んで参ります。
今後の取組み	<p>平成23年3月11日に発生した東日本大震災により本市においても甚大な被害が発生し、住家の全壊・半壊等を被るとともに、市の公共施設や道路、公共下水道施設などの市が所管する公共施設等は、約45億円の被害額となっています。</p> <p>こうしたことより、本市が被った市が所管する公共施設等の復旧を早期に行う必要が生じ、それに伴い市の財源が不足することから、平成23年度の地区振興協議会要望事業の予算を震災復旧事業に充て、今年度から実施予定である新規事業の地区振興協議会要望事業について、9地区全て1年間繰り延べし、平成24年度から実施する予定です。【政策企画課】</p>
No. 23	地域活動の推進に関すること
意見・質問・要望等	中央公園付近に道の駅のような物産館を作る計画をしているようだが、枝野や西根でも特色ある菜の花を作っている。菜の花の油を使ってトラクターを動かすなど、時代にあった動きをしている団体に理解を示して欲しい。【枝野地区】
当日の回答	環境を考えて色々やっつけいらっしゃることは大切なことだと思います。我々議員も勉強します。
今後の取組み	平成22年度策定の角田市第二次環境基本計画では、菜の花やひまわりなどの景観作物の栽培を普及拡大し、自然環境と調和のとれた景観の形成を図ることにしております。【政策企画課】

No. 24	事務改善に関すること
意見・質問・要望等	社会保険料控除に使用する後期高齢者保険料納付証明の交付に関して、問い合わせた担当課や税務課の職員対応が極めて悪かった。仙台市では全員に通知しているのに、郵送での納付証明はコストが掛かるので、角田市は出来ないの一点張り。どういう職員教育をしているのか、不愉快だった。【小田地区】
当日の回答	当局に伝えます。
今後の取組み	職員の対応が悪かったとすれば陳謝します。所得申告に使用する保険料等の納付確認書(納付証明)については、今後検討します。【税務課】
No. 25	市有財産に関すること
意見・質問・要望等	西根中学校の跡地の管理が悪く、草で荒れている。グレーダー等で整備して欲しい。【西根地区】
当日の回答	要望として承ってまいります。
今後の取組み	西根中学校校庭の除草作業は、市でシルバー人材センターに委託して年2回(7月と9月)実施しております。校庭が草で荒れる前の段階での整備と校庭を均す作業となりますと、グレーダーによる整備が必要と思われますので早急に対応するようにしたいと思います。【財政課】
No. 26	民有地に関すること
意見・質問・要望等	神社の木の伐採の費用を出してもらいたい。【藤尾地区】
当日の回答	政教分離だから何ともならない。氏子の皆さんと話し合ってください。
今後の取組み	民有地内の財物について行政が費用負担することはできません。財物の所有者に管理責任があるので、議員の回答のとおりです。【総務課】

